

大垣市農業委員会だより

第5号

平成26年9月1日発行

編集/発行 大垣市農業委員会
(大垣市丸の内2丁目29番地)

☎ 0584-81-4111 (内線532)
Fax 0584-81-4899

大垣市農業委員会

会長 岩井 豊太郎

ごあいさつ

農業委員会の改革に向けて

この度、大垣市農業委員会の改選に当たり、私は、選任委員として西濃農業共済組合から選出されました。また、他の選任委員と、地区選出の農業委員により役員の互選が行われ、続けて会長に就任しました。

本市農業委員会は、この法律の趣旨に基づき、本市農政および農業の発展に取り組んでいます。

農業委員会法第1条に「この法律は、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与するため、農業委員会、都道府県農業会議及び全国農業会議所について、その組織及び運営を定めることを目的とする」と書かれており、農業委員会等の役割が明確にさ

れています。

そんな中、政府は本年6月24日、10年先を見通した農政改革のグランドデザインとなる「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂しました。そこで示された農業委員会の見直しは、農業をめぐる社会経済の構造変化に対応して、遊休農地対策を含めた農地利用の最適化に重点を置き、これらの業務の積極的な展開を図ることです。

しかし、このプランは、規制改革委員会が国に一方的に示したプランに基づいて政府が決定したものであり、農業関係者などを含めた幅広い国民的議論が十分なされていないものと思います。

今後、国会審議など国の農業改革の動向を捉えて、岐阜県農業会議とともに、本市農業委員会の改革に取り組まなければならぬと考えています。



具体的には、農業委員会は、「農地利用を最適化」するために、制度が見直されました。農業委員の選出については、選挙制度を廃止し、市町村議会の同意を要件とする市町村町の選任委員に一元化するとされました。また、農業委員の過半は認定農業者の中から選任し、利害関係がなく公正に判断できる者を必ず入れることとし、女性、青年の登用を積極的に進めるとしています。さらに、農業委員会の指揮の下で、地域における農地利用の最適化や担い手の育成・発展の支援を推進する「農地利用最適化推進委員(仮称)」を置くことも盛り込まれています。

改革委員会が国に一方的に示したプランに基づいて政府が決定したものですので、農業関係者などを含めた幅広い国民的議論が十分なされていないものと思います。

大垣市農業委員会

副会長 高橋

滋



大垣市農業委員会

副会長 大橋正美



地域農業の振興を推進

このたび、農業委員の皆様のご推举により、引き続き副会長を担わせていただくことになりました。今後とも、農業者の信頼と期待に応えられるよう会長をしっかりと支え、公平で適正な農業委員会運営に努めてまいる所存でございます。

わが国の農業は、農産物価格の低迷などによる所得の減少、若者の農業離れによる担い手不足の深刻化や高齢化といった厳しい状況に直面しており、耕作放棄地の増加なども大きな問題であります。このような中、食料の安定

供給を図るための優良農地の確保と有効利用の促進や、意欲ある農業者への農地集積など、農業委員会の果たす役割はますます重要なものとなつています。

農業を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応できるよう農業委員の資質向上に努め、地域農業の振興に向けた取り組みをさらに推進してまいりますので、より一層のご指導とご協力をお願い申し上げ、副会長就任のごあいさつといたします。

残暑厳しい折柄、皆様方にはいかがお過ごしでしょう。昨今の新聞等を拝読しておりますと、6月後半より現在に至るまで相当数の方々が熱中症で病院に搬送されています。この暑さはまだしばらく続きそうです。皆様、くれぐれもお気をつけてください。

さて、平成26年7月には全国的に農業委員の改選期を迎え、選挙が施行され、新委員が選ばれました。昨今、新聞紙上では、農業委員及び農業委員会制度の見直しについていろいろ取沙汰され、農業委員会制度の見直しについて

員会の業務、農業委員の選出方法と役割などが議論されています。私たち農業委員は、地域の代表者として選出されて、高い使命感を持つて業務にあたっている点にご理解いただきたいと思います。

また、地域の農地に刻まれた歴史等を知ることで、今後ともしっかりと地域を見つめて、与えられた業務を肃々と進めていく所存ですので、よろしくお願いします。

最後になりましたが、皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。



新しい農業委員が決まりました！

任期満了に伴う農業委員の改選が行われ、24名の新農業委員（選挙委員20名、選任委員4名）が決まりました。

なお、7月22日に開会されました農業委員会総会において、次のとおり役員が選任されました。

任期は、平成26年7月20日から平成29年7月19日までの3年間です。

これから3年間、農家の皆さまの代表として、大垣市農業の発展のため活動します。

農地の貸し借りや、売買、農地転用など、農地に関する問題は、お気軽にお近くの農業委員または農業委員会事務局までお尋ねください。

大垣市農業委員会 会長 岩井豊太郎

“ 副会長 高橋 滋

“ 副会長 大橋 正美

農業委員一覧

地区	氏名	地区	氏名
中部	清水 馨	川並	高橋 滋
南杭瀬	臼井 元一	三城	横幕 秀次
多芸島	桑原 一	墨俣	下野 博司
安井	大橋 正美	赤坂	田部 勝美
宇留生	久保田 故	青墓	長澤 逸男
中川	小川 道夫	牧田・一之瀬	田中 孝典
和合	小倉 桂一	多良	草野 直木
静里	吉田 和郎	時	辻元 政博
荒崎	小川 勝幸	選任委員	農協
綾里	柳瀬 敏秋		共済組合
洲本	林 新太郎		土地改良
浅草	國枝 義見		議会推薦

農地利用状況調査を実施

農業委員会では毎年、遊休農地対策として、農地パトロールを実施しています。

今年も、8月から9月にかけて、農業委員と農業委員会事務局職員が農地パトロールを実施しています。

遊休農地は、病害虫の発生の原因になるなど、周辺地域の営農環境や生活環境に悪影響を及ぼす恐れがありますので、農地をお持ちの方は適正な管理をお願いします。

なお、耕作放棄地の所有者には、指導及び意向調査を行います。



農業体験学習！小学生が田植え体験

6月12日、墨俣小学校の児童たちが、近くの田んぼで田植え体験を行いました。

下宿地区農地保全向上管理組合(代表、関谷隆二さん)の皆さん指導で、田に張られたひもにそって、苗を一斉に植えました。

この取り組みは、国民の食生活を支えている米の生産は、自然環境と深いかかわりをもって営まれていることや、米の生産に従事している人々の苦労や努力等について、米作りの体験を通して学ぶものです。

秋には、稲刈り体験を予定しており、児童たちは収穫の秋に期待を寄せていました。



六次産業化の取り組み

市では、農業経営の安定・強化を図るため、平成25年度に市単独事業として「六次産業化推進事業」を創設しました。農産物の生産から加工、販売までを一貫して取り組み、農業経営の六次産業化を図る農林漁業者で組織する団体等に対し、最長5年間の支援を行っています。

農事組合法人わごう

＜経営概況＞

水稻、小麦、蜜源れんげを中心として、約100haの経営面積を有している。

水稻は、れんげを肥料として鍬込むことで土づくりを行い、農薬や化学合成肥料を低減する特別栽培米に取り組んでいる。

＜六次産業化の取組＞

農産物：米（特別栽培米）

加工品：おにぎり

販売方法：直売所での販売、イベント



事務所1階を直売所として活用

えぼしの里・上石津

＜経営概況＞

野菜、山菜を中心として少量多品目生産を実施し、朝市での販売を行っている。

また、指導者付き農園として「かがやき農業塾」の運営も行っている。

＜六次産業化の取組＞

農産物：大根

加工品：漬物（真空パック）

販売方法：直売所、芭蕉元禄朝市



芭蕉元禄朝市での販売

老後の備えは
万全ですか？

〃メリットいっぱい〃 国が支える担い手積立年金 農業者年金に加入しよう！

加入要件

60歳
未満

国民年金
第1号
被保険者

年間
60日以上
農業従事

3つの要件を満たせば
どなたも加入できます！



※有利な国民年金の付加年金も併せて加入ください。

【お問い合わせ・申し込み／大垣市農業委員会 または 岐阜県農業会議 ☎058-268-2527】

みんなで築こう 人権の世紀 ~考え方相手の気持ち 育てよう思いやりの心 ~